

### 核兵器のない世界へ 諸団体の取り組み多彩

#### 3・1ビキニデー北海道集会

3・1ビキニ事件から70年。2月24日札幌で、午前には映画「第五福竜丸」(新藤兼人監督)の上映、午後は市田真理さん(第五福竜丸記念館学芸員)の講演がありました。会場参加70余名にオンライン参加者も加わり活気ある集いが道原水協を中心とした実行委主催で開かれました。被爆者協会金子廣子さんが閉会挨拶で「核兵器の



ない世界めざして頑張ろう」と訴えました。

#### 平和のつどいで大村さん語る

##### —北広島原水協

2月3日北広島原水協主催の「平和のつどい」で被爆者大村一夫さんが講演。惨状、惨劇よりも怖いのはその後の放射能の影響だ。核兵器はこれからの皆さんの問題、との話に、悪天候の中集った37名の市民は熱心に耳を傾けました。

つどいの後総会が行われ核兵器のない世界をめざして思いを新たにしました。



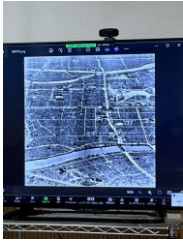
#### 民医連の全道青年ジャンボリーでは二世の川去さんが

民医連の青年ジャンボリーが全道各地の70余名をオンラインで結んで実施されました。

前半は青年ジャンボリー前史についての講演、後半に二世プラスの会会長の川



(左)原爆投下直後の街中の様子



(右)稲荷町の実家にあった徳利。

去裕子さんが、被爆者の現状と会の活動について紹介した後、父の日記をもとに家族の被爆の状況を詳細に語りました。

「初めて知ったことばかり。私達青年が学び語り伝えていくべき」などの感想が紹介されました。

#### 朗読劇の試みなど

##### 新しい動きが—

新年度に向けていろんな動きが出てきています。

昨年原爆ドームのモザイク画を作り、金子さんが生徒に被爆体験を語った札幌南高(定時)の野口先生は、今年の学校祭で北海道の被爆者の証言による生徒の朗読劇を計画しています。

札幌のある女性たちの市民グループも、「この子たちの夏」(地人会新社の朗読劇)の台本をもとに、8月初めに朗読劇をやることを考えています。先日会館に来られて北海道の被爆者のことを聞き、展示室を見学していきま

した。  
被爆二世プラスの会は新

年度に「じっくり聞こう被爆体験」その2を計画しています(その1は2017年に札幌平和委員会青年部と共催で実施)。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ攻撃など血なまぐさい動きの中で、被爆者の証言に関心が注がれているのかもしれない。

#### 感想ノートより

熱線だとけた人影、原形をとどめない不気味な形に変化したラムネビン。人間の心にひそむ悪魔が人間の尊厳に勝った日。すべての人が人間としての尊厳を大事にする日まで声を上げ続けなければならぬ。ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ。

YJT

事実を事実として伝えることの大切さを再認識させられました。今後も続けられることを期待します。頑張ってください。頑張ってください。自分を再びふるいたたせてくれました。元気をもらいました。ありがとうございました。

Tan